

# てんき新聞

08.8.No135  
発行所 市川印刷  
0843-68-5292

七月上旬、梅雨があげたら、連日、暑い日、  
皆さへおええとござようか

「暑中お見舞申しあげます」  
本当に暑い日が続いています。

だからござようか、へびも長いのをよく見か  
けますし、蜂の巣も早くから出あり、もうその  
洗礼をうけています。

ヒグラシは、七月十日から鳴きはじめ、夕暮の  
の淋しさを演出してくれています。

アブラゼミは七月十四日にはじめて鳴き、暑  
さを強調してくれています。そして、少し谷間に  
行くといそ七日後よりミンミンの高音が、涼し  
い風とサマに耳に響きますし、八月一日になると白  
くもツクツクゴウリが短い回を響かせるので、  
本当に数が少なくなっています。クマゼミの声を聞  
く時があり、虫でもは、この暑さを涼しくする  
よつごですが、私たちは大変です。

まだ、祖谷の風は、都会の空気とは違って気持ち  
がいいのですが、その顔と顔をあわせば「ぬくぬ  
く」も、なんともいえない会話の中へ。

草刈りをすれば、すぐに全身汗だらけ、休めば  
汗がくびくと汗を落としてくる。

ダイエットには申し分ないのですが、体力が持  
ちません。

そのせいで、夏の好きが、私は、昆虫のよつごに、この  
暑さを涼しくしたいと昔刈りもやっています。

時には、降ちからのお祝いの二発ももらいますよ。  
山では、今高山植物の花盛り、特に剣山では、  
ギンギョウソウを見に多くの登山者が足を運  
んでいきます。ギンギョウソウを好きなのは、鹿の  
けこはひいようびです。

とさかく、暑い夏本番、一スライにすぎませう。

とさかく、暑い夏本番、一スライにすぎませう。

## お見舞申しあげます



# 注目の祖谷

合併し、三好市とびつて三年目、様々な所  
ごマイナスとびつる話題が多い中、祖谷が注目  
されていく事が多い。

まず、三好市の観光の中心に祖谷を考え、  
その活性化に向けてたどり組みが少なくなると  
名頃地区を中心とした「かかしの里」づくり。  
そして、勢合地区、現在、茅葺き屋根の民家  
復元に向けて進行中。

平家落人伝説を中心として、古民家の再活  
用に本格的にとり組みはじめる。

先日、会合での美馬市の人から「祖谷とい  
う名前が売れただけで、やり易い」という発言  
があり、なる程、そういう事も言えるなあと感  
心なのでは。

旅の雑誌「西の旅」からも取材され、九月号で  
は、祖谷が紹介される等、TV局でもよくとり  
あげられたい。

ただその効果はまだ先の様だし、なにより  
祖谷が暮らしている私達一人ひとりが、自信を  
もって「ふるまほ」を語るようにならなければい  
けないとおもいます。

観光は、観光業者だけが、潤うという様では  
発展性は低いとござよう。地域が元気になる  
観光がなければ、長く続かないとおもいます。

それは、名所、旧跡、心みや大きな建物があれば  
よいというものでありません。

あつら、不便だとか、何とありませんというこ  
とが、価値を高めている現在、祖谷はそのどの  
が価値があります。あとは、心「生きかた」がど  
うなのかという事。自分だけ良ければとか、自  
分たちだけが中心にならばという考えでは、ど  
先は見えていません。とさかく、祖谷の知名度  
は肉遠いなくアップしてきます。

とさかく、祖谷の知名度

とさかく、祖谷の知名度

とさかく、祖谷の知名度

とさかく、祖谷の知名度

とさかく、祖谷の知名度

とさかく、祖谷の知名度

とさかく、祖谷の知名度